

# 家選びの基準はN·istへ。 その住まいは安心がつくられているか？

地震の多い日本では、甚大な災害が起こるたびに、国家主導で何度も耐震基準が見直され、企業主導でそれに応える技術が磨かれてきました。N·istも同様に、耐震性能には十分なこだわりを持ち、地域に住まう人に安全な住まいをつくることを貫いてきました。

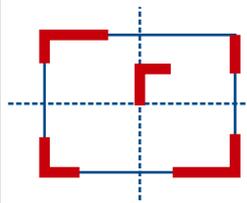
しかし、その基準を満たすだけではこと足りないとするのがN·ist基準。安全をより確かなものにし、「安心をつくる」ために、私たちはさらなる取り組みを続けています。

## 「耐震等級3」は当たり前。

### 01 全棟構造計算

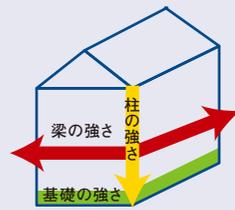
一邸一邸、住まいの形に合わせたバランスを検証する“許容応力度計算”を徹底。

耐震等級の多くは壁量計算で認定される



壁量計算とは、建物の規模に対して耐震壁がどのくらい入っているかの量を計算するのみ。

許容応力度計算は、建物の形状に沿って、柱や梁・基礎の強度を地震や風力に耐えうるものとして適切な耐震構造を計算していく方法。



壁量計算のみでは、構造の「偏り」が出てしまう可能性があり、耐震等級3という最高品質を、最大限の安心にするために、N·istでは全棟構造計算を行なっています。

### 02 耐震+制震

いつか来るかもしれない地震。  
しかしそれは1度だけとも限らない。

熊本地震では、強い揺れが繰り返し訪れ、2度目3度目の揺れによって倒壊した建物が多くあり、それらの中には耐震等級を満たすものも含まれていました。その後すぐにN·istでは「Nセーブ」を導入。繰り返しの地震に強い構造となるように、制震機能を取り入れました。

Nセーブとは



構造材の接合部分を強化するための、耐震金物に制震ゴムを付加し、構造強化と制震性を同時に担保する先進的な構造部材。大学の学術研究に基づいて開発された製品であり、関西ではいち早くN·istが導入しました。

### 03 客観的視点と確認記録

図面が正確でも、部材が優れていても、  
施工が不正確では意味がない。

構造計算や耐震等級を取り、それらを優れた部材で作りあげたとしても、実際の工事施工がずさんでは全く意味がありません。日頃から、社内チェックも徹底して行なっていますが、さらに安心をしていただくために、第三者機関と協力して、施工品質の安定化に勤めています。

施工品質安定のために

- 1 第三者機関と施工品質基準書を作成。N·istの工事方法を明確に定める。
- 2 客観的視点で作られた品質基準をもとにチェック・写真撮影をしてクラウド上で状況を管理。
- 3 お引き渡し後にも、施工内容、見えなくなってしまう構造部もご確認いただけるアカウントを発行。

NEW

N·istの最新の家づくりがわかる!



エヌ・イストチャンネル

基礎編

最高等級編

断熱編

発砲断熱材  
アイシネン編

動画配信スタート!!



阿倍野区・東住吉区を中心に、  
多数の物件情報を掲載しております。

N·istのこだわりや、  
最新物件情報を随時更新!

トーション不動産

検索



■宅建許可番号/大阪府知事(9)第28518号 ■建設業許可番号/大阪府知事(般-29)第99091号  
■(公社)全日本不動産協会会員 ■(公社)不動産保証協会会員 ■(公社)近畿地区不動産公正取引協議会加盟

TOSHIN トーション不動産販売株式会社

大阪市阿倍野区  
昭和町1丁目20番22号  
トーション昭和町ビル1F

お問い合わせ

06-6623-7021

営業時間/9:00~19:00(毎週水曜、第1・第3・第5火曜定休日)  
土・日・祝も休まず営業しております。